

西部太平洋における海鳥の衛星追跡： 渡り鳥で繋げるアジアの海と人々

ひろげる助成

1年目

調査研究

研修ワークショップ参加者 **100人**

海鳥保全メーリングリスト登録者 **20人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **20%**



活動内容と成果

本年度は香港とインドネシアで行う衛星追跡調査の準備を進めた。国際鳥類学会議(2018年8月、バンクーバー)及び東アジア・オーストラリア地域フライウェイネットワーク会議(2018年12月、海南)では海鳥保全について検討を進めた。またインドネシアでは2019年2月に環境保全機関職員を対象とした研修ワークショップを実施し、大学との連携も進めた。

課題

東南アジアにおいて、海鳥保全に必要な人材を育成し、重要サイトの保全対策を構築、保全の意識啓発を進める。西太平洋で海鳥保全研究者の協力ネットワークを構築する。

目標

アジアの重要サイトを集めた海鳥保全ネットワークが形成される。保全を進めるため、インドネシア、フィリピンなど各国との共同プロジェクトを実施する。



苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

インドネシアとの調整が難航し、活動認可がなかなか下りなかったため、現地での活動実施時期が遅れた。

■ 工夫した点

アジサシ類を海洋環境を代表する種として選定したこと。現地の研修ワークショップでは期待以上の参加者と、理解が得られた。

| 活動地域 |  香港、インドネシア

7C, V Ga Building, 532 Castle Peak Road, Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong
電話: +852 2377 4387
E-mail: hkbws@hkbws.org.hk
<https://www.hkbws.org.hk/>



今後の
展望

次年度には香港とインドネシアでアジサシの衛星追跡調査を実施する予定。アジサシの渡りとそのルートについて理解が進み、より多くの国々と重要サイトの連携に繋がるよう期待している。